



氏名 松岡 知哉
所属 工学部 電気情報工学科
学年 4年

留学先 マラヤ大学(マレーシア)
留学期間 2024/8/18~2024/9/7

留学レポート Study Abroad Report

・きっかけ

大学生のうちにある程度の英語の能力の習得をしたかったため、今回のプログラムに参加しました。いくつかある中でこのプログラムを選んだ理由は、3週間の期間が確保されていることとバディが積極的にサポートしてくれるので英語に自信が無い自分でも安心して挑戦できると思ったためです。

・プログラムの概要

大阪公立大を含めて合計6つ(関西学院大学、静岡大学、東北大学、小樽商科大学、鳥取大学)から約100人くらいの日本人の学生が参加していました。マラヤ大学からは約20人くらいのバディが参加していました。1つのグループにマラヤ大学のバディが1人と日本人の学生が4~6人くらいいて、自由時間はそのグループで主に行動していました。

基本的には午前中は授業が2時間×2コマで昼食をはさんで午後からはアクティビティがありました。アクティビティの内容は

- ダンスの授業、あるいは音楽の授業
- 外出プログラム(ツインタワーやモスクに行く等)

の2つを1日ごとに交互に行いました。基本はバディのグループと行動するのですが他のバディと行動することもあり他の学生やバディとも仲良くなることができました。アクティビティの後には1度ホテルに戻り、グループごとに夕食を食べました。タクシーを使って移動したり、コインランドリーに行ったり、電車を使ってショッピングモールに行きました。プログラムはバディの方が考えて提案してくれるので日本人は特に何もすることは無いのですが、マレーシアでやりたいことはあらかじめ言っておくとバディの方が連れて行ってくれました。

・プログラムのスケジュール(例)

8/18(日) マレーシア到着、空港でバディと食事、ホテルチェックイン
8/19(月) オープニングセレモニー、英語試験、ツインタワー観光
8/20(火) Grammar, Writing 授業、ダンスの授業
8/21(水) Speaking, Reading 授業、ピンクモスク観光
8/22(木) Grammar, Writing 授業、ダンスの授業
8/23(金) Speaking, Reading 授業
8/24(土) Melaka 観光

| | |
|---------|--|
| 8/25(日) | Sunway Lagoon(遊園地) |
| 8/26(月) | Speaking, Reading 授業、ダンスの授業 |
| 8/27(火) | Grammar, Writing 授業、Malaysia tourism centre 観光 |
| 8/28(水) | Speaking, Reading 授業、ダンスの授業 |
| 8/29(木) | Grammar, Writing 授業、Batu Caves 観光 |
| 8/30(金) | Speaking 授業、マレーシア文化体験授業 |
| 8/31(土) | Homestay Programme(泥遊び、凧作り等) |
| 9/1(日) | Central Market 観光 |
| 9/2(月) | Grammar, Writing 授業、小学校訪問 |
| 9/3(火) | Speaking, Reading 授業、ダンスの授業 |
| 9/4(水) | Grammar, Writing 授業、観光 |
| 9/5(木) | Speaking, Reading 授業、クロージングセレモニーリハーサル |
| 9/6(金) | 最終試験、クロージングセレモニー |
| 9/7(土) | 自由時間、帰国 |



・授業の内容

1つの授業が2時間で途中休憩も挟んでくれました。授業は全て英語で行うのですが先生方は優しくゆっくりと話してくれました。ただ聞いているだけの授業もありますが授業によっては簡単なゲームを行うこともあり楽しく取り組むことができました。先生は比較的フレンドリーで授業外でも交流することができ、先生によってはインスタグラムも交換しました。先生が質問をしてくれたときに積極的に答えることは心がけていました。

・持ち物

マレーシアは日本よりも暑くはないと感じましたが、湿度が高い、日差しが強い、スコールがあるという特徴があるので、日焼け止め、日傘、サングラス、ハンディファン・うちわ、タオルなどの用意は必須だと思います。自分はせんすを現地で買いました。

通信環境ですが自分はポケット Wi-Fi を契約して持って行ったのですが e-SIM や現地で SIM カードを買った方が安くて済むし、現地のデリバリーサービスが使用できるのでそちらをおすすめします。



食事の際に手や口元が汚れてしまうことは当たり前なのでティッシュやウェットシートは常備しておくべきかと思います。またトイレトペーパーがないことがあったので水に流せるポケットティッシュも必須だと思います。

授業によってはエアコンが効きすぎていることがあったので長袖の服かアウターを持って行くこともおすすめします。またクロージングセレモニーの際に上下黒色の服が必要なのでそれは必ず持って行くようにしてください。

・ホテル(Hotel Armada Petaling Jaya)

ホテルは基本的に清潔で快適に過ごすことができました。シーツ、バスタオルは毎日交換してくれて、毎日 500 ミリのペットボトルを 1 本支給してくれました。たまにバスタオルが交換されないこともあるのでその場合はフロントに連絡する必要がありました。

ホテルにはジムやバーが付いていて何回か利用させてもらいました。ホテルのトイレが一番きれいだったので安心して過ごすことができました。

・感想

大人数が参加するプログラムだったので自分とは合わない人がいたりもしたし、食事が原因でちょっとし

た腹痛も経験したけれど、振り返ってみると本当に楽しい3週間を過ごすことができました。日本人が思ったよりも多くいたので日本語を話すことがほとんどで英語の能力はあまり伸びなかったんじゃないかとは思っています。それでもバディの方と話したり、英語の授業を受けたこともあってリスニングの面はリラックスしてある程度内容を理解できるようになった気がするし、自分の言いたいことを英語で表現できるようにもなりました。また自分から話しかけに行けば英語に触れる機会がいくらかでもあるのでそれを活かすべきだと思います。このプログラムでの経験を活かしてこれからも英語の勉強に励みたいです。バディや先生の中には日本でも会おうと約束している人もいたので次に会うときまでに少しでも英語のスキルを伸ばしていきたいと思い、モチベーションの維持にも繋がっています。

自分は高校のときに1週間ほどシンガポールに行った経験がありましたが、初めての海外挑戦にぴったりのプログラムだと思います。OMUのプログラムでアメリカからの大学生のバディを経験したこともありますが、それに比べると比較的易しく、特にマレーシアの方はゆっくりと英語を話してくれることに加えて、少しの日本語だったら理解してくれるので助かりました。英語能力に自信がない人には特におすすめのプログラムでこれを機に更なる挑戦を試みるのもありなのかなと思います。プログラムは大学2年生がほとんどを占めていて次に1年生、4年生、わずかだけど3年生という感じでした。自分は4年生でしたがたくさん友達もできたし楽しむことができました。年齢や専攻は全く気にする必要がなかったので楽な気持ちでみんなと接することができました。

大学生活の中でも一番楽しかった3週間と言えるほど濃い時間を過ごしました。このプログラムに関わった日本人の学生やバディ、先生方に本当に感謝したいです。このプログラムに参加をする人は思う存分楽しんでてください。

